

新型コロナウイルス論文紹介
新型コロナウイルス 偽陰性を臨床的、放射線学的に評価

SARS-CoV-2

Prompt and accurate diagnosis of COVID-19 is critical to guide isolation and management of persons under investigation, so as to reduce transmission, conserve personal protective equipment, and determine treatment eligibility. Created a definition of false-negative SARS-CoV-2 nucleic acid amplification tests (FNs), and characterized the clinical, radiologic, and laboratory features of patients with FNs.

SARS-CoV-2 の核酸増幅検査（NAAT）における偽陰性の懸念から、COVID-19 感染の疑いがある場合は、繰り返し検査することが推奨されています。ところが、偽陰性の頻度とこれに関連する患者の特徴はよくわかっていないと述べられています。ご紹介する論文では、SARS-CoV-2 の NAAT 検査結果を遡及的にレビューしています。偽陰性を具体的に定義して偽陰性の被験者を層別化し、臨床的、放射線学的に評価しています。

偽陰性を示したほとんどの患者は、最初に陰性結果が認められた時点で COVID-19 の典型的な症状と放射線学的所見があり、偽陰性の原因は、検体採取時期と部位、検体の品質によるものが多かったことが示されています。また個人間、個人内においても、ウイルスの不均一性が示唆されているとしています。そのため、約 7 日以内の NAAT 再検査、場合によっては下気道検体の再 NAAT や抗体検査による反復診断を行う必要性を説いています。そして、NAAT の限界を克服するために、胸部 CT が有用となる可能性も示しています。

Dugdale, Caitlin M., et al. "Clinical, laboratory, and radiologic characteristics of patients with initial false-negative SARS-CoV-2 nucleic acid amplification test results." *Open Forum Infectious Diseases*. 2020.